



年4回発行

2022.1

No.47

障害者就業支援
事業

「いんくる」の名前について
インクルーシブ（包み込む、含んだ、共生）からとっており、
一人ひとりの違いを認め、尊重し合い、皆が手を繋ぎひとつになる
という意味を込めております。



©Artbility 中野遊学「西伊豆の富士」

※アートビリティとは、社会福祉法人 東京コロニーの障害者アート専門の芸術ライブラリーです。

障害者雇用をサポートします！

- 1 職場体験実習を活用しよう
- 2 職場内障害者サポーターになろう



職場体験実習事業

東京しごと財団では、企業と障害者双方の理解を深め、企業にとっては受入準備性を、障害者にとっては職業準備性を高めるための有効なツールである職場体験実習事業を実施しています。

障害者雇用をお考えの企業のみなさまへ

東京しごと財団では、以下の事業により職場体験実習にトライする企業を支援します。

障害者雇用支援アドバイザーによる個別支援

実習生の受入れを検討中の都内企業を対象に、当財団の障害者雇用支援アドバイザーが、実習のための業務の切出しや実習運営の留意点について丁寧に助言します。また、「職場体験実習受入企業」に登録いただければ、地域の就労支援機関を通じた実習希望者を募ることができ、随時、実習希望者の紹介をいたします。

職場体験実習面談会・職場体験実習ミニ面談会

実習受入れの準備が出来ましたら、一度に複数の実習希望者との面談ができる、面談会に参加することも出来ます。面談会当日は、障害者と地域の就労支援機関のペアで参加しますので、安心して面談することができます。

東京しごと財団職場体験実習助成金

都内で職場体験実習生を受け入れる東京都にある中小企業を支援する助成金制度の活用ができます。（支給には各種要件があります。）

職場体験実習先を探している障害者就労支援機関のみなさまへ

障害者の職場体験実習を推進するため、東京しごと財団では以下の事業を行っています。

職場体験実習面談会・職場体験実習ミニ面談会

障害者と地域の就労支援機関のペアで参加していただき、一度に複数の企業と面談することができます。



実習受入れ企業の紹介（随時）

地域の就労支援機関に対して、実習生を随時受け入れている企業を紹介しています。地域の就労支援機関から申込みいただき、当財団の障害者雇用支援アドバイザーがマッチングを図ります。実習受入れ企業については、ホームページで公開しています。



実習生への損害保険料補助

都内の企業等で実施する、もしくは都内在住者に対して実施する職場体験実習に対し、実習生の安全等を確保し、企業が安心して受入れられるよう、実習生の損害保険料を補助しています。地域の就労支援機関からお申込みいただけます。

【利用した企業さまの声】

- 一度にたくさんの方と面談機会をいただき、大変助けられております。
- すばらしい人材とのマッチングの機会をいただきました。今後も是非とも参加させていただきたいと思いました。

お問い合わせ

(公財) 東京しごと財団 障害者就業支援課 コーディネート事業係

TEL : 03-5211-2682

★詳細はHPをご覧ください。

https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/company/workplace_experience-based_training/index.html



職場体験実習 利用企業の声

【事例1】株式会社ルックアップ

- 従業員数：46名
- 事業内容：コンピュータに関する自社開発および他企業への技術協力
- 実習生の障害種別：精神・発達
- 実習内容：キitting及び付随業務



現場担当者様

**意欲があるのでとても真面目で熱心
他の社員、スタッフにも良い刺激に**

1 実習受入れのきっかけ

2013年に障害者雇用してみたものの、周囲の協力がなかなか得られずうまくいきませんでした。どうしたものかと思い悩んでいた時に職場体験実習を知り、参加したことがきっかけです。

2 心がけていること

初日に職場環境・業務内容の説明に時間を掛けて、安心していただけるように心がけております。また、特性などを鑑み、会社として配慮すべき事項を確認して、社内共有しております。

3 よかったこと

相互確認など「報告・連絡・相談」を重視する職場なので、質問される事、それに答える事は自分達の理解にもなり、実習に来られた方と受け入れる我々も、お互いが気づきや発見を得るものがあります。

4 これから実習に取り組む企業へ

職場体験にこられる方は、苦手を克服したい、自分に自信をつけたいなど目的があり、意欲があるのでとても真面目で熱心に作業に取り組んでくれます。そういう姿勢は他の社員、スタッフにも良い刺激になると思います。

【事例2】ヘアサロンONOグループ / 株式会社大野孝

- 従業員数：51名
- 事業内容：理容業
- 実習生の障害種別：主に知的・発達
- 実習内容：ヘアサロンの清掃・本部事務所での軽作業



**実習に来てくれて、受入側も助かる関係を目指し、
「お互いに笑顔でありがとう。」という状況をイメージ**

1 実習受入れのきっかけ

身内に障害者を抱えるスタッフがおり、弊社での社会貢献として職場体験実習に行きつきました。

2 心がけていること

現場のスタッフとの事前情報の共有に時間を使っています。「休憩時間はあらかじめ設定。」「業務内容についての目標は1作業を確実に終える。」という設定にしています。

3 よかったこと

実習を通して、障害者の社会参加について、スタッフの理解が深まったこと。コミュニケーションスキルが全体的に上がったと思います。

4 これから実習に取り組む企業へ

受け入れるスタッフにもストレスがかからないように、実習に来てくれて、受入側も助かる関係を目指し、「お互いに笑顔でありがとう。」という状況をイメージ出来たら成功すると思います。

職場内障害者サポーター事業 ～職場定着に向けて～

障害のある社員が長く職場に定着し、かつ貴重な人材として活躍するためには、職場における日常的な支援を企業が自ら行っていくことが必要です。障害者の職場定着を推進する企業等を募集し、障害のある社員をサポートする「職場内障害者サポーター」を養成することで、社員が働きやすい職場づくりを支援します。

①養成講座（6時間×2日間）日程：随時開催（年間28回程度）／開催場所：大手町、立川、オンライン講座

職場定着を支援するために必要な知識・ノウハウ等を学ぶ講座です。講義やグループワーク、就労現場の見学を通じて、障害者雇用の現状から社内支援体制を考え、現場で活用できる実践的な支援方法を学びます。

②サポーター登録後、職場内で支援活動（6か月間） 支援員による定期訪問／フォローアップ研修：4時間

「職場内障害者サポーター」として登録後、支援計画に基づき、職場内の障害のある社員に対する支援を6ヶ月間行います。支援活動中は、専門知識を有した支援員が職場を定期訪問（月1回程度）し、サポーターを支援します。その間に、フォローアップ研修（1回）も開催し、支援スキルのブラッシュアップを行います。

③奨励金支給 中小企業：24万円／大企業・特例子会社：12万円 ※支給要件あり

④アフターフォローアップ 個別電話相談：随時／アフターフォローアップ研修：2時間

認定職場内サポーター（サポーター支援活動終了者）は何度でもご利用いただけます。

まずは養成講座にご参加ください



事業HPはこちら

第23回 1月19日(水)・26日(水) / 第24回 2月3日(木)・10日(木)
第25回 2月7日(月)・14日(月) / 第26回 2月15日(火)・22日(火)
第27回 3月4日(金)・11日(金) / 第28回 3月9日(水)・16日(水)

※開催方法（オンライン又は集合形式）は順次HPにて公表いたします。

◆お問い合わせ

職場内障害者サポーター事業運営事務局（運営会社：株式会社パソナハートフル内）

【HP】 <https://www.shougaisya-support.jp/> 【TEL】 03-6734-1096

●奨励金及び事業全般に関するお問合せ

（公財）東京しごと財団 障害者就業支援課 雇用促進係 【TEL】 03-5211-2303

※本事業は、公益財団法人東京しごと財団が株式会社パソナハートフルに委託して実施しています。



「ハートの中のバラとパンジー」
アート村アーティスト 醍醐 恵子 (知的障害)

〈発行〉（公財）東京しごと財団 障害者就業支援課 企画普及係

〒102-0072 千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター 8階

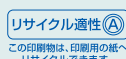
TEL：03-5211-2681

HP <https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>



【個人情報の取扱いについて】

公益財団法人東京しごと財団では、「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）、「厚生労働省所管分野における個人情報保護に関するガイドライン」及び関係諸法令等の遵守徹底を図るとともに、個人情報を適切かつ安全に取り扱うため、個人情報保護基本方針を制定しています。個人情報の取扱いの詳細はホームページ又は窓口でご確認ください。



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

